



2020年6月30日

各位

会社名 株式会社グッドパッチ  
 代表者名 代表取締役社長 土屋 尚史  
 (コード番号: 7351 東証マザーズ)  
 問合わせ先 執行役員 管理部管掌 榎島 俊幸  
 TEL. 03-6416-9238

### 東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ

当社は、本日、2020年6月30日に東京証券取引所マザーズに上場いたしました。今後とも、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、2020年8月期（2019年9月1日から2020年8月31日）における当社グループの連結業績予想は、以下のとおりであり、また最新の決算情報等につきましては別添のとおりであります。

【連結】

(単位：百万円、%)

項目	2020年8月期 (予想)			2020年8月期 第2四半期累計期間 (実績)		2019年8月期 (実績)	
	売上 高比率	対前期 増減率		売上 高比率		売上 高比率	
売上高	2,237	100.0	32.9	1,121	100.0	1,683	100.0
営業利益	206	9.2	174.4	160	14.3	75	4.5
経常利益	205	9.2	145.8	160	14.3	83	5.0
親会社株主に帰属する 当期(四半期)純利益	212	9.5	270.0	170	15.2	57	3.4
1株当たり当期 (四半期)純利益	30円70銭			24円79銭		8円36銭	
1株当たり配当金	0円00銭			0円00銭		0円00銭	

- (注) 1. 2019年8月期(実績)及び2020年8月期第2四半期累計期間(実績)の1株当たり当期(四半期)純利益は期中平均発行済株式数により算出しております。
2. 2020年8月期(予想)の1株当たり当期純利益は公募予定株式数(308,900株)を含めた予定期中平均発行済株式数により算出しており、オーバーアロットメントによる売出しに関連する第三者割当増資分(最大98,900株)は考慮しておりません。
3. 当社は、2020年3月17日付でA種優先株式、B種優先株式、C種優先株式を保有する全株主が定款に定める取得請求権を行使したことにより、同日付で自己株式として取得し、対価として普通株式を交付しておりますが、2019年8月期の期首に当該普通株式の交付が行われたと仮定し、1株当たり当期(四半期)純利益を算定しております。なお、当社が取得したA種優先株式、B種優先株式、C種優先株式は、同日付で会社法第178条に基づき全て消却しております。
4. 当社は、2020年3月17日付で株式1株につき40株の株式分割を行っております。上記では、2019年8月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期(四半期)純利益を算出しております。

## 【2020年8月期業績予想の前提条件】

(当社グループ全体の見通し)

当社グループは、「デザインの力を証明する」というミッションのもと、「ハートを揺さぶるデザインで世界を前進させる」というビジョンを掲げており、顧客企業に対し、Web・スマートフォンサービス等のデジタルプロダクトに関わる様々なデザイン領域においてサービスを提供しております。

当社グループを取り巻く経営環境としましては、米中貿易摩擦の長期化や国内における消費税増税の影響により景気に停滞感が見られることに加え、2019年12月に確認された新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染拡大に起因する様々な社会経済への影響により先行きが不透明となっております。

他方、IT専門の調査会社のIDCによる調査結果では、デジタルトランスフォーメーションの拡大を背景として、全世界におけるデジタルエージェンシー(当社グループを含む顧客企業のデジタル開発/進出を支援する事業を行う企業)の全市場の市場規模は堅調に拡大すると推測されています。この中でも、当社グループが手掛けるUI/UXデザイン支援に関連した領域(UI/UXデザイン市場)の市場規模については、2018年の484億USドルから2023年には950億USドルに拡大すると予想されており、年平均成長率にして14.4%になるとされています。国内においても、経済産業省及び特許庁が2018年5月に「『デザイン経営』宣言」を公表しており、デザインを活用した経営手法を推進しているところであり、当社グループの事業に関わる市場のポテンシャルは十分にあるものと認識しております。

当社グループのセグメントは、Webサイト、アプリケーション、ブランド等のデザイン支援を行う「デザインパートナー事業」と、自社開発のSaaSプロダクトや自社を軸として構築した人材プールを活用した「デザインプラットフォーム事業」の2つに分かれます。2020年8月期の業績予想の前提としては、これらの2つのセグメントの売上高がともに堅調に推移すると見込んでおります。その結果、売上高2,237百万円(前期比32.9%増)、営業利益206百万円(前期比174.4%増)、経常利益205百万円(前期比145.8%増)親会社株主に帰属する当期純利益212百万円(前期比270.0%増)と見込んでおります。

(売上高)

### (1) デザインパートナー事業

デザインパートナー事業においては、主にWebサイトやスマートフォンアプリケーション等のデジタルプロダクトのデザイン開発を進めたい顧客企業に対し、当社のUXデザイナー及びUIデザイナーがUI/UXデザインの実現を支援しております。収益獲得形態としては、顧客企業からプロジェクトを受注すると、当社のUXデザイナー及びUIデザイナーが、例えばユーザーの観察から潜在的なユーザーの課題を見出し、プロトタイプを繰り返しながら発想する等という問題発見解決の思考でサービスを提供しており、顧客企業からは当該サービスの提供に応じて対価を得るといったものです。顧客企業との契約形態は主に準委任契約となっております。

売上高の計画の策定にあたっては、まず、過去に受注したプロジェクトの実績の推移及び期初時点の受注プロジェクトの候補から、人員計画を考慮して年間の受注件数を設定します。各プロジェクトには当社のデザイナーを配置することになりますが、配置するデザイナーの等級ごとに請求単価が決まられており、当該請求単価とプロジェクトに従事したデザイナー数に基づいて顧客企業に対価を請求しています。当事業の手がけるプロジェクト数およびプロジェクト月額が増加トレンドにあり、2019年8月期においては月平均プロジェクト数は13.0%の増加、平均プロジェクト月額は11.5%の増加等により、事業売上高は1,323百万円(前期比11.2%増)となりました。

また、2020年8月期では、第2四半期累計(2020年2月まで)にて、月平均プロジェクト数においては前期比9.7%増、月平均プロジェクト数では前期比18.3%増となりこれまでの増加のトレンドは継続しております。加えて、計画の策定においては、配置されるデザイナーの等級の変遷やデザイナー数の変動も加味し、第2四半期までの獲得プロジェクトを反映させたものとなっております。

以上の結果、デザインパートナー事業の2020年8月期の売上高は1,628百万円(前期比23.5%増)を見込んでおります。

### (2) デザインプラットフォーム事業

デザインプラットフォーム事業において当社グループが顧客に提供している主な製品・サービスは以下のとおりであり、製品・サービスごとに売上高の計画を策定しております。

#### ① Prott

「Prott」は2014年にリリースしたプロトタイプングツールであり、アプリケーションにおける画面遷移の動作やタッチパターンなどの設定をプログラミングなしで表現可能であるため、デザイナーはこの製品を用いることで簡易的に画面設計を行うことが可能になります。契約しているアカウント数と機能の充実度によって段階的な価格設定があり、この組み合わせにより売上高が決まります。当

社としては、競合製品の状況を鑑み、今後はアカウント数を増加させることはしない方針であるため、想定される解約率により2020年8月期の売上高を策定しております。2020年8月期においては、2019年8月期の解約率のトレンドが継続すると考え、各月の売上高を見込んでおります。以上の結果、「Prott」の2020年8月期の売上高は100百万円（前期比34.2%減）を見込んでおります。

## ② ReDesigner 及び ReDesigner for Student

「ReDesigner」は2018年にリリースしたデザイナーに特化した人材紹介サービスです。デザインの知識を持った当社がエージェントとしてデザイナーと求人企業の間に入り、独自の求人票、オンラインアンケート、面談等を通じて、デザイナーの特性やキャリアの志向を踏まえてマッチングを実施します。

収益獲得形態は、人材紹介が成約した場合に求人企業から成功報酬の形で対価を受け取っており、成功報酬は成約者の年収に一定のレートをかけたものです。2020年8月期においては、2019年8月期の成約者数及び成約者の年収のトレンドが継続すると考え、各月の売上高を見込んでおります。

また、2019年6月には「ReDesigner for Student」というデザイナー志望の学生に向けた採用支援サービスもリリースしております。学生は本サービスに登録し、自身のポートフォリオ（作品集）の掲載を行い、求人企業からの採用アクションを待つ一方、求人企業は毎月定額の利用料を支払い、ポートフォリオに登録している学生に向けてコンタクトを取ります。2020年8月期においては、求人企業数を個別に見積もることにより各月の売上高を策定しております。以上の結果、「ReDesigner」および「ReDesigner for Student」の2020年8月期の売上高は119百万円（前期比109.4%増）を見込んでおります。

## ③ Goodpatch Anywhere

「Goodpatch Anywhere」は、遠隔地からインターネットを通じてプロジェクトに参加する形態をとったフルリモートのデザインチームによるWebサイトやアプリケーションのデザイン支援を展開しております。本サービスにおけるデザインプロジェクトは、デザインパートナー事業におけるデザインプロジェクトと同様、顧客企業は当社と準委任契約を締結し、役務の提供が行われ、当社はその対価を受け取ります。デザインチームの組成は全国のデザイナーを各プロジェクトへの期間や必要となるスキルに応じて、本サービスに登録されている人材のプールから最適なメンバーを選定することにより行います。

売上高の策定にあたっては、デザインパートナー事業におけるデザインプロジェクトと同様に、毎月の受注見込み件数にプロジェクトの月当たりの売上単価を掛け合わせる形をとっており、受注見込み件数及び売上単価は、計画策定時に判明しているトレンドを反映させたものとなっています。以上の結果、「Goodpatch Anywhere」の2020年8月期の売上高は368百万円（前期比159.0%増）を見込んでおります。

## ④ Athena

「Athena」として、カーデザインをVirtual Realityの環境で行うことができるソフトウェアの開発を子会社Goodpatch GmbHにて進めております。将来的にはライセンスの課金収入を目指しておりますが、現在は顧客企業のオーダーに応じた取引を実施しており、ソフトウェアを顧客用にカスタマイズし、個別のデザインプロジェクトとして提供しております。

2020年8月期の売上高については、顧客企業からの引き合いから個別に受注見込みと受注金額を見積もり策定しております。以上の結果、「Athena」の2020年8月期の売上高は19百万円（前期比7,687.2%増）を見込んでおります。

以上の結果、デザインプラットフォーム事業の2020年8月期の売上高は609百万円（前期比67.5%増）を計画しております。

なお、現在新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染が世界的に拡大していますが、当社グループの事業は必ずしも対面によることが必要とされるものではなく、遠隔のコミュニケーションによっても顧客企業へのサービスの提供が成立することから、当社グループの事業への影響は限定的であると判断しております。当社では、現時点において新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響により、かねてより進行中のプロジェクトや受注済のプロジェクトが打ち切りになった事例はありません。したがって、2020年8月期業績予想の前提条件にはこの影響は織り込んでおりませんが、今後の状況により顧客企業の事業の停止や倒産等が発生するリスクは残されており、当該リスクが現実となった場合は、例えば当社グループの売上高の減少や売上債権の回収不能といった事象が発生することがあり、その場合は当社グループの財政状態及び経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

## (売上原価)

### (1) デザインパートナー事業

デザインパートナー事業における売上原価の大半は、UI デザイナー、UX デザイナー及びエンジニア（以下、「デザイナー等」という。）の労務費から構成されています。2020年8月期の労務費については、期首のデザイナー等の在籍者数に期中の採用者数及び退職率を考慮して計画を立案しております。当社の場合、デザイナー等の在籍者数に最も影響を与えるのは退職率であると考えております。過去は高い退職率だった時期があったものの、2019年8月期には改善傾向が見られたため、2020年8月期の退職率は、2019年8月期の第3四半期及び第4四半期の実績に基づいた数値を計画に使用しております。2020年8月期においては、2020年2月末のデザイナー等が101名から期末のデザイナー等が114名に増加する計画としており、労務費の算定にあたっては昇給も考慮しております。経費については、オフィスの賃借料、交通費、通信費等がありますが、これらは2019年8月期と同水準という前提で計画を立案しております。

以上の結果、デザインパートナー事業の2020年8月期の売上原価は652百万円（前期比31.0%増）を計画しております。

### (2) デザインプラットフォーム事業

デザインプラットフォーム事業における売上原価も、「Goodpatch Anywhere」に従事するデザイナーをはじめとする労務費が中心となっております。「Goodpatch Anywhere」については、受注案件数が増加しており、フリーランスを統括する人材の必要性が高くなっているため、2020年8月期において人員を強化する計画としております。具体的には、2020年4月末の稼働者数が29名から期末の稼働者数が36名に増加する計画としており、これを労務費の計画に反映しております。経費については、デザインパートナー事業と同様に2019年8月期と同水準という前提で計画を立案しております。

以上の結果、デザインプラットフォーム事業の2020年8月期の売上原価は213百万円（前期比74.9%増）を計画しております。

## (販売費及び一般管理費、営業利益)

### (1) デザインパートナー事業

デザイナー等の労務費のうち、非稼働時間に係る分を販売費及び一般管理費の人件費として計上しております。2019年8月期からのデザイナー等の増加に応じて2020年8月期の人件費も計画しております。採用費等の経費は、2019年8月期の実績に基づき各費目を積み上げて2020年8月期の計画を策定しております。

以上の結果、デザインパートナー事業の2020年8月期の販売費及び一般管理費は772百万円（前期比11.5%増）、営業利益は210百万円（前期比57.9%増）を計画しております。

### (2) デザインプラットフォーム事業

主要なものは人件費であり、2019年8月期の人件費の実績に2020年8月期の人員増減計画を考慮して2020年8月期の人件費を策定しております。経費についても、デザインパートナー事業と同様に2019年8月期の実績に基づき各費目を積み上げて2020年8月期の計画を策定しております。

以上の結果、デザインプラットフォーム事業の2020年8月期の販売費及び一般管理費は392百万円（前期比32.8%増）、営業損失は4百万円（前年同期は58百万円の営業損失）を計画しております。

## (営業外損益、経常利益)

2020年8月期の営業外損益は、2019年8月期の実績を勘案して策定しておりますが、このほかに営業外費用として新規株式上場に伴う株式公開費用7百万円を見込んでおります。

この結果、2020年8月期の経常利益は205百万円（前期比145.8%増）を計画しております。

## (特別損益、親会社株主に帰属する当期純利益)

特別損益については、今後発生を見込んでいる重要な項目はありません。これらに税金費用を加味した結果、2020年8月期の親会社株主に帰属する当期純利益は212百万円（前期比270.0%増）を見込んでおります。なお、税金費用には過年度の繰越欠損金の影響も反映しております。

### 【業績予想に関するご留意事項】

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因によって異なる場合があります。

以上



## 2020年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年6月30日

上場会社名 株式会社グッドパッチ 上場取引所 東  
 コード番号 7351 URL <http://goodpatch.com/>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)土屋 尚史  
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員 管理部管掌 (氏名)榎島 俊幸 (TEL) 03(6416)9238  
 四半期報告書提出予定日 - 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年8月期第2四半期の連結業績(2019年9月1日~2020年2月29日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年8月期第2四半期	1,121	-	160	-	160	-	170	-
2019年8月期第2四半期	-	-	-	-	-	-	-	-

(注) 包括利益 2020年8月期第2四半期 171百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2020年8月期第2四半期	円 銭 24.79	円 銭 -
2019年8月期第2四半期	-	-

(注) 当社は2019年8月期第2四半期について四半期連結財務諸表を作成していないため、2019年8月期第2四半期の数値及び2020年8月期の前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2020年8月期第2四半期	百万円 1,249	百万円 634	% 50.8
2019年8月期	821	463	56.4

(参考) 自己資本 2020年8月期第2四半期 634百万円 2019年8月期 463百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2019年8月期	円 銭 -	円 銭 0.00	円 銭 -	円 銭 0.00	円 銭 0.00
2020年8月期	-	0.00	-	-	-
2020年8月期(予想)	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年8月期の連結業績予想(2019年9月1日~2020年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,237	132.9	206	274.4	205	245.8	212	370.0	30.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名)、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年8月期2Q	162,994株	2019年8月期	162,994株
2020年8月期2Q	-株	2019年8月期	-株
2020年8月期2Q	162,994株	2019年8月期2Q	-株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

(注) 当社は2019年8月期第2四半期について四半期連結財務諸表を作成していないため、2019年8月期第2四半期の期中平均株式数については記載していません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローに関する説明	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループをとりまく事業環境に関しては、ユーザーエクスペリエンス (UX) を意識したデジタル化を軸に事業変革を図ろうとする企業ニーズが顕在化しつつあり、ビジネスモデルの変革や新しいビジネスの創出などの実現を目指す投資、いわゆるデジタルトランスフォーメーション (DX) への投資が拡大しております。

このような状況の下、当第2四半期連結累計期間において、当社グループは、デザインパートナー事業において、UXデザイナー及びUIデザイナーの人材を最大限活用し、顧客企業が真に必要なとするUI/UXデザインの実現のため、顧客企業のデザインプロジェクトの支援を行ってまいりました。また、自社サービスであるPrott、ReDesigner及びGoodpatch Anywhereなどのデザインプラットフォーム事業を主要サービスと位置づけ注力し、デザインパートナー事業と相互にシナジーを図りながら事業を進めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,121,332千円、営業利益は160,053千円、経常利益は160,537千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は170,162千円となりました。

報告セグメント別の業績の状況は以下のとおりであります。

#### ① デザインパートナー事業

デザインパートナー事業は、引き続きスマートフォンのアプリ等の新しいユーザーシーンを捉えて新しいユーザー体験をデザインするUI/UXソリューションを提供しております。各社が既に確保しているビジネス領域を守っていける保証は今や無く、当社がこれまで培った競争優位を維持するためにもデザインへの投資を拡大している中で、事業領域の拡大を図っております。

この結果、デザインパートナー事業の売上高は816,495千円、営業利益は129,714千円となりました。

#### ② デザインプラットフォーム事業

デザインプラットフォーム事業は、引き続きデザインパートナー事業で培ったナレッジの蓄積をもとにしたプロダクトであるProttの安定的な提供、自社で構築したデザイン人材プールを活用したサービスたるReDesignerの実績を積み上げております。また、Goodpatch Anywhereにおいては、継続的な登録者数の増加によるフルリモートでのUI/UXデザインプロジェクトの順調な拡大に伴い、売上、利益ともに伸長し、事業成長に大きく貢献しました。

この結果、デザインプラットフォーム事業の売上高は305,587千円、営業利益は30,271千円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ236,427千円増加し、958,085千円となりました。主な要因は、長期借入等に伴う現金及び預金の増加159,453千円及び売上の増加に伴う売掛金の増加62,738千円であります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ191,909千円増加し、291,894千円となりました。主な要因は、使用権資産の新規計上87,157千円、投資有価証券の増加48,400千円及び繰延税金資産の発生に伴う計上49,201千円であります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて428,337千円増加し、1,249,979千円となりました。

#### (負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ45,222千円増加し、365,605千円となりました。主な要因は、1年内返済予定の長期借入金の増加26,123千円、賞与引当金の発生22,240千円、リース債務の新規計上18,112千円、未払消費税等の増加15,306千円及び未払金の減少44,745千円であります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ211,865千円増加し、249,728千円となりました。長期借入金の増加141,279千円及びリース債務の新規計上70,586千円によるものであります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて257,088千円増加し、615,334千円となりました。



(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比べ171,248千円増加し、634,645千円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益計上等に伴う利益剰余金の増加170,162千円であります。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ159,453千円増加し、668,362千円となりました。各キャッシュ・フローの状況とその要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは67,038千円の収入となりました。これは、税金等調整前四半期純利益150,126千円、売上の計上に伴う売上債権の増加61,874千円があったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは67,038千円の支出となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出48,400千円があったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは158,267千円の収入となりました。これは主に、長期借入れによる収入210,848千円及び長期借入金の返済による支出43,911千円があったこと等によるものであります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年8月期の業績予想につきましては、本日公表いたしました「東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」をご参照ください。なお、当該業績予想につきましては、本日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因により異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	508,908	668,362
売掛金	178,530	241,269
仕掛品	5,430	9,190
前払費用	26,625	28,762
その他	2,162	10,500
流動資産合計	721,658	958,085
固定資産		
有形固定資産		
建物	49,321	49,928
減価償却累計額	△16,246	△18,203
建物(純額)	33,074	31,725
工具、器具及び備品	97,364	113,654
減価償却累計額	△64,534	△74,478
工具、器具及び備品(純額)	32,830	39,175
使用権資産(純額)	-	87,157
有形固定資産合計	65,905	158,058
無形固定資産		
ソフトウェア	90	69
無形固定資産合計	90	69
投資その他の資産		
投資有価証券	0	48,400
敷金及び保証金	33,988	35,817
繰延税金資産	-	49,201
その他	-	347
投資その他の資産合計	33,988	133,766
固定資産合計	99,984	291,894
資産合計	821,642	1,249,979

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年2月29日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	15,072	18,013
1年内返済予定の長期借入金	50,014	76,137
未払金	94,518	49,772
未払費用	28,989	37,008
未払法人税等	37,201	38,707
未払消費税等	32,614	47,920
前受金	5,154	11,580
前受収益	40,651	26,806
リース債務	-	18,112
賞与引当金	-	22,240
その他	16,167	19,306
流動負債合計	320,382	365,605
固定負債		
長期借入金	37,863	179,142
リース債務	-	70,586
固定負債合計	37,863	249,728
負債合計	358,246	615,334
純資産の部		
株主資本		
資本金	455,754	455,754
資本剰余金	450,754	450,754
利益剰余金	△437,291	△267,129
株主資本合計	469,216	639,378
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△5,820	△4,733
その他の包括利益累計額合計	△5,820	△4,733
純資産合計	463,396	634,645
負債純資産合計	821,642	1,249,979

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年2月29日)
売上高	1,121,332
売上原価	394,214
売上総利益	727,118
販売費及び一般管理費	※1 567,065
営業利益	160,053
営業外収益	
受取利息	4
為替差益	479
補助金収入	5,778
その他	351
営業外収益合計	6,614
営業外費用	
支払利息	5,561
その他	568
営業外費用合計	6,129
経常利益	160,537
特別損失	
事業所閉鎖損	※2 10,410
特別損失合計	10,410
税金等調整前四半期純利益	150,126
法人税、住民税及び事業税	29,166
法人税等調整額	△49,201
法人税等合計	△20,035
四半期純利益	170,162
親会社株主に帰属する四半期純利益	170,162

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

	(単位：千円)
	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年2月29日)
四半期純利益	170,162
その他の包括利益	
為替換算調整勘定	1,086
その他の包括利益合計	1,086
四半期包括利益	171,248
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	171,248
非支配株主に係る四半期包括利益	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年2月29日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	150,126
減価償却費	23,025
事業所閉鎖損	10,410
賞与引当金の増減額(△は減少)	22,240
為替差損益(△は益)	△522
受取利息	△4
補助金収入	△5,778
支払利息	5,561
売上債権の増減額(△は増加)	△61,874
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,369
前払費用の増減額(△は増加)	△2,069
前払金の増減額(△は増加)	△7,328
仕入債務の増減額(△は減少)	2,832
未払金の増減額(△は減少)	△45,413
未払費用の増減額(△は減少)	△2,542
前受金の増減額(△は減少)	6,425
前受収益の増減額(△は減少)	△13,844
未払消費税等の増減額(△は減少)	15,192
その他	△109
小計	92,957
利息及び配当金の受取額	4
利息の支払額	△5,478
補助金の受取額	5,778
法人税等の支払額	△26,223
営業活動によるキャッシュ・フロー	67,038
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△16,514
敷金及び保証金の差入による支出	△2,503
投資有価証券の取得による支出	△48,400
その他	380
投資活動によるキャッシュ・フロー	△67,038
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入れによる収入	210,848
長期借入金の返済による支出	△43,911
リース債務の返済による支出	△8,670
財務活動によるキャッシュ・フロー	158,267
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,185
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	159,453
現金及び現金同等物の期首残高	508,908
現金及び現金同等物の四半期末残高	※1 668,362

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(IFRS第16号「リース」の適用)

当社グループのIFRS適用連結子会社は、第1四半期連結会計期間より、IFRS第16号「リース」を適用しております。これにより、借手としてのリース取引については、原則としてすべてのリースについて資産及び負債を認識しております。

本基準の適用にあたっては、経過措置として認められている、本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この結果、第1四半期連結会計期間の期首において、使用権資産が31,310千円、流動負債のリース債務が12,122千円、固定負債のリース債務が19,187千円それぞれ増加しております。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	デザイン パートナー事業	デザインプラッ トフォーム事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	815,745	305,587	1,121,332	—	1,121,332
セグメント間の内部売上高 又は振替高	750	—	750	△ 750	—
計	816,495	305,587	1,122,082	△ 750	1,121,332
セグメント利益	129,714	30,271	159,986	67	160,053

- (注) 1. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。  
2. セグメント利益の調整額67千円は、セグメント間取引消去によるものであります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。